

# あなたの力を地域に、そして町づくりに！

## 平成22年度地域人材育成 ダイヤモンドプラン事業

### 『ふるさと只見・人材育成講座』



▲カリキュラム作成会議

今回は、第1期生として『第6次産業を興す起業家の育成』についての講座を受講され、地域リーダーとしての知識や能力を修得されるため、頑張っておられる受講者の皆さんに現在の思いをお聞きしますので、事業の内容とあわせ、ご紹介します。

#### 趣旨

今年度より教育委員会では各課と連携し、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業『ふるさと只見・人材育成講座』を開始いたしました。この事業は、基本的な知識・専門性・新たな課題への対応など幅広い知識を身に付け、多方面にわたる地域づくりをサポートする人材を1000人育成することを目的としています。この方々を中心に只見町がさらに元気で活気のある地域になることを目指し、本事業を展開してまいりますので、町民の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。

#### 実施期間

平成22年度から平成23年度までの2年間の研修期間となります。(第1期生)

#### 今年度の内容

今年度の研修は次のとおりです。スタートして3回の研修が終了しました。受講者は目標に向けて積極的に研修に取り組んでおります。今後は、後半3回の研修が行われます。

▽前半.....

○7月22日

『地域資源を活かす』

福島大学経済経営学類教授

西川 和明 氏

○9月8日

『農工商連携と

中山間地域活性化モデル』

会津大学短期大学部

産業情報学科教授

森 文雄 氏

○10月19日

『カリキュラム作成会議

(受講生主体)』

▽後半.....

○11月25日

『6次産業が地域経済に

もたらす効果とは』

株式会社メルコレディ代表取締役

土田 勝広 氏

○1月21日

『観光事業40年』

株式会社いづみや代表取締役

片桐 俊輔 氏

#### 次年度の予定

次年度の計画は、10月19日の受講生を中心としたカリキュラム作成会議が行われ、①地産地消のあり方を考える、②特産品の生産・加工・販売の構築、③農家レストランの仕組みについて視察、④只見米の付加価値の創造、という意見や要望が意欲的に出されましたので、これを基本として今後、研修カリキュラムを考案・作成していきます。

#### 次年度以降の方針

当初は10年計画で本事業をすすめることにしていましたが、いづれも重要かつ喫緊の課題であることから、5年間で推進すること検討しております。

平成22年度末には第2期生として、『産業を興す人材』や『集落の再生・課題を解決する人材』の受講生を募集する予定です。こちらにも、目的が達成される優秀な人材を育成していくため、充実した講座を計画していきたいと考えております。皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

○2月5日

『松下政経塾 視察研修』

# 受講者11名の 思いは〇〇〇



## 舟木 晋太郎さん (小林)

私がこの研修に参加した目的は単一業種だけでは限界があり、農業・工業・商業が連携し新しい産業を起すきっかけを見つける為に参加しました。今まで2回の研修に参加しいろいろな人と意見を交換する事で新しい発見ができています。これからは目標を設定し達成できればいいと思います。



## 三瓶 清志さん (大倉)

只見町は現在農業も商工業も大変厳しい状況である。この研修を通して、農業と他産業が手を取り合い、只見町の産業発展に貢献できれば幸いです。私はまず農業者として第1次産業でしっかりとした土台を作り、1×2×3=6次産業の基礎を築きたい。



## 佐藤 弘さん (叶津)

只見町には、起業をするのに必要な天然素材が多くあると思います。その天然素材を活かし、自分ながらの夢を実現したいと考えております。そして、この2年間の講習会等で学ぶであろう知識と、専門の方々のアドバイスを受けながら実のある物に仕上げていきたい。



## 目黒 道人さん (楡戸)

毎回、講師の先生には実践的な事例を紹介していただけるので勉強になります。一方で「過去にも立派な先生がいろいろ来たがモノになっていない」(事情通)という残念な話も聞きますので“お決まりパターン”に陥らないよう楽しんで参加したいと思います。



## 目黒 広信さん (塩ノ岐)

仕事、年齢、地域、発想も違いいろいろ感心させられます。また、研修もたいへん参考になります。何かの形にできればと思っています。



## 新国 真也さん (只見)

中山間の不便な土地と向き合って農業を営んできましたが、研修を重ねるたびに不便に感じていた物が資源だと思える様になりました。只見の資源を活かして通年で農家が働ける産業を作りたいです。また、次世代が只見町に起業家としてどんどん残れるようなモデルになればうれしいです。



## 山内 翔さん (二軒在家)

生食販売用に生産した野菜やキノコの余剰分を加工販売できる施設や仕組みを作りたいと思っています。知らない事が多過ぎるので勉強したいと思います。



## 山内 幸三さん (布沢)

今春定年を迎え、町づくりに役立ちたいと考えておりました折、研修生の募集がありました。集落内には既に6次産業を志向している方もおられます。地域づくりは単に競争ではなく、あせらずに地域の人々と手を組み、シンプルに芽を伸ばし、夢に繋がたいと考えます。



## 星 美弥子さん (小林)

今回の最大の喜びは地元素晴らしい若い人が沢山おられることです。それに余力のある熟年層の経験と実力をプラスしてそれぞれが知恵を出し、思いを語り合い団結し、行動すれば最高の町づくりになります。宮沢賢治の言葉を借りて「世界(只見)全体が幸福にならなければ個人の幸福はありえない。」



## 吉津 健さん (黒谷)

様々な分野の方々と研修をさせて頂き、只見町を見直し、新鮮な気持ちで、地域の宝を活用し新しい産業や地域活性化に結びつけたいと思います。大変貴重な時間を頂き感謝しております。



## 目黒 孝幸さん (只見)

6次産業とは「地域の宝」の掘り起しであり、そこに生産・加工・流通が加わることで相乗効果が期待される産業ではないかと考えます。疲弊している地域経済を立て直すヒントがあるのではないかと考えます。今回の研修でそのヒントを見つけていきたいと考えています。